

石狩市行政改革 2016

実施計画

～第1次選定 実施事項～



石狩市

目次

(1) PPP・協働の推進（民間・地域との連携） P 1

～改革の方策～

- ・実施主体の多様化と事業手法の検証
- ・アウトソーシングの推進
- ・PFIの推進
- ・指定管理者制度の推進
- ・協働事業の推進
- ・協働意識の向上
- ・市民参加の推進
- ・協働提案制度の新たな展開
- ・新たな地域自治の仕組み

～実施事項～

- 第1プール P 1～2
- 第2プール P 3
- 第3プール P 4

(2) 市役所イノベーション（求められる市役所への変革） P 5

～改革の方策～

- ・業務管理・マネジメントの強化
- ・業務効率・品質の向上
- ・ICT活用の推進
- ・目的指向の組織づくり
- ・新時代の人材育成
- ・職員数の適正化
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進
- ・行政評価制度を活用した仕事の仕方見直し

～実施事項～

- 第1プール P 5～6
- 第2プール P 7
- 第3プール P 8

(3) 健全な財政基盤の構築 P 9

～改革の方策～

- ・財政構造の柔軟性確保
- ・財政健全化比率の遵守
- ・プライマリーバランスの黒字化
- ・地方債残高（普通会計）の縮減
- ・基金借入金残高の縮減
- ・財政調整基金の充実
- ・減債基金の充実
- ・土地開発公社の経営健全化
- ・特別会計の経営健全化

～実施事項～

- 第1プール P 9～11

(1)PPP・協働の推進（民間・地域との連携）

第1プール							
改革の方策	取り組み事項		24	25	26	27	28
① 実施主体の多様化と事業手法の検証			24	25	26	27	28
1 行政評価の活用 (行政改革担当 ・企画課)	民間の活用や協働化が可能な事業を積極的に検出するため、行政評価を活用します。	目標	実施				
		実績					
		達成度					
② アウトソーシングの推進			24	25	26	27	28
1 学校開放業務の委託化 (スポーツ健康課)	学校開放業務の経費節減と業務の効率化を図るため、既に委託中の学校開放管理業務に加え、団体間の日程調整や連絡等の業務を一括して委託します。	目標	実施				
		実績					
		達成度					
2 第三者行為（交通事故）に係る求償事務の委託化 (国民健康保険課)	第三者行為（交通事故）に係る保険給付の損害賠償金求償業務の効率化と、歳入の確保を図るため、調査及び損害賠償請求業務を委託します。	目標	実施				
		実績					
		達成度					
3 除排雪委託等の夏冬一体化 (都市整備課)	地域の状況に合った道路維持や除雪精度の均一化等、市民サービスの向上と、担当業務の効率化のため、冬場の除排雪委託業務と夏場の道路維持委託業務を通年業務とし、一体化して委託します。	目標	実施				
		実績					
		達成度					
4 公民館管理運営業務の委託化 (公民館)	石狩市公民館の管理運営業務の効率化を図るため、委託中の夜間の受付・管理業務に加え、土日の開館運営業務を委託します。	目標	実施				
		実績					
		達成度					
5 北石狩衛生センター業務の委託化 (北石狩衛生センター担当)	経費の抑制、運営の効率化のため、北石狩衛生センターのゴミ処理業務を長期包括委託します。	目標	実施				
		実績					
		達成度					

改革の方策		取り組み事項					
③ 指定管理者制度の推進			24	25	26	27	28
1 指定管理者制度の推進 (契約課)	指定管理者制度の導入効果をより発揮するため、施設利用者の満足度調査や施設運営状況のモニタリングを行い、そのフィードバックの実施、また、評価の手法や運用規定の整備・見直しを行います。	目標	実施	●	→		
		実績					
		達成度					
④ 協働意識の向上			24	25	26	27	28
1 協働のまちづくり研修等の実施 (協働推進・市民の声を聴く課)	市民との協働に積極的に取り組むためには、職員の協働に対する意識を高めるとともに、市民の地域への関心や係わりを育ていくことが必要です。 協働によるまちづくりを推進するため、すべての職員を対象とした研修や、市民への啓発事業等を実施します。	目標	実施	●	→		
		実績					
		達成度					
⑤ 市民参加の推進			24	25	26	27	28
1 審議会への女性の登用 (協働推進・市民の声を聴く課)	市政への市民参加は、市民が地域の課題に取り組むきっかけに繋がることから、様々な市民が市政に関われるよう取り組まなければなりません。 現状において、審議会等における女性の参加が少ないことから、女性登用率目標値40%の達成に向け、登用促進のための各種リストの作成や、委員選任に関する各審議会担当課との事前協議の徹底など積極的改善措置（ポジティブアクション）を講じます。	目標	35%	38%	39%	40%	40%
		実績					
		達成度	/	/	/	/	/
⑥ 協働提案制度の新たな展開			24	25	26	27	28
1 協働事業提案制度の見直し (協働推進・市民の声を聴く課)	本制度を、より活発に市民からまちづくりへの提案が生まれる制度とするため、市民が自由に公共的課題を設定し、それを解決するための事業を募集する「市民提案型」に加え、市が予め課題を設定し、その解決が期待できる事業を募集する「行政提案型」を本制度に加えます。	目標	実施	●	→		
		実績					
		達成度					
⑦ 新たな地域自治の仕組み			24	25	26	27	28
1 協働による仕組みづくりの検討 (企画課)	平成27年9月の地域自治区設置期間の満了を見据え、本市にふさわしい協働と市民参加による地域づくりのあり方を検討するため、地域自治区の先行地区である厚田区・浜益区の取り組みの成果と課題を検証し、より魅力ある地域の形成のために市民自ら行動できるような新たな地域自治の仕組みを検討します。	目標	実施	●	→		
		実績					
		達成度					

第2プール

改革の方策	検討事項
アウトソーシングの推進	
浜益区地域バス業務の一体委託化 (浜益：市民生活課)	浜益区の地域バス運行業務の、安定・継続したサービスの提供と、業務の効率化を図るため、一般混乗スクールバス（現在委託）、教育バス・福祉バス（市職員が運行）を一体的に委託すること。
給食センターの給食業務の委託化 (学校給食センター)	第2給食センターの老朽化に伴い、安全で効率的な学校給食の提供のため、民間活力を導入した業務形態を取り入れること。
協働事業の推進	
魚つきの森プロジェクトの推進 (魚つきの森プロジェクト外担当)	厚田区小谷地区の牧草地を活用して、森と海の自然を体感できる公園施設「魚つきの森」を、市民、団体、企業等との協働により整備すること。

第3プール

改革の方策

アウトソーシングの推進

これまでの“コスト削減”重視から、“サービスの質の向上”と“業務の効率化”や“仕事の削減”に主眼を置き、既存の委託事業についても委託形態の見直しや統合等を行います。

PFIの推進

PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）は、公共施設の設計、建設、維持管理、運営に民間の有する資金やノウハウを活用し、公共投資をできるだけ抑制しながら、効果的・効率的に社会資本を整備することが可能であり、民間事業者の新たな事業機会の創出などの効果が期待されることから、施設整備事業の有効な手段の一つとして位置付け、その有効性が認められる事業については積極的に導入を図ります。

指定管理者制度の推進

民間活用により、その有効性が認められる施設について制度の導入を推進します。

協働事業の推進

まちづくりや環境、福祉、教育、文化など様々な分野で、市と市民や団体・企業等、様々な主体が各々のノウハウを持ち寄り、それぞれの役割・責任を分担しながら互いにパートナーとして連携し、地域の課題に取り組む協働事業を推進します。

(2)市役所イノベーション（求められる市役所への変革）

第1プール

改革の方策		取り組み事項					
① 業務管理・マネジメントの強化			24	25	26	27	28
1 目標管理システムの導入 (総務課)	職員の意識改革、マネジメントやリーダーシップ等の能力開発を促し、仕事の仕方を変えていくため、組織目標を共有し、その達成のために職員ひとり一人が目標を持って業務に取り組み、点検、改善のサイクルを着実に繰り返すマネジメント・システムを導入します。	目標	実施	●————→			
		実績					
		達成度					
2 時間外勤務の縮減 (総務課)	時間外勤務を縮減し、人件費の抑制を図るため、仕事の仕方や人事・組織の改革、職場環境の改善等を進めながら、時間内・外の業務管理を徹底します。 【目標値⇒平成22年度実績（58,500h）比の20%削減（一人あたり月一時間程度の時間外勤務の削減）を目指します。】	目標	54700 ▲6%	50900 ▲13%	49300 ▲16%	47800 ▲18%	46800 ▲20%
		実績					
		達成度	/	/	/	/	/
② 業務効率・品質の向上			24	25	26	27	28
1 職員提案制度の見直し (総務課)	制度の活用促進と、行政課題の積極的な改善を図るため、職員が課題とその解決策を自主的に設定し提案する「自由提案型」に加え、あらかじめ改善すべき行政課題を提示し、その解決策の提案を募る「規定提案型」を加えます。	目標	実施	●————→			
		実績					
		達成度					
2 改善しました。無理・無駄・ムラ (総務課)	業務改善に対する意識を高揚し、改善風土の醸成を図るため、自主的に行われた改善事例を把握し、その効果や工夫、汎用性等の基準により評価するとともに、職員間で事例を共有します。	目標	実施	●————→			
		実績					
		達成度					
③ ICT活用の推進			24	25	26	27	28
1 健診分析ソフトの導入 (保健推進課)	保健指導の充実と事務の効率化を図るため、市民の特定健診データをより多角的・効率的に分析する健診分析ソフト（マルチマーカー）を導入します。	目標	実施				
		実績					
		達成度					
2 インターネットを活用した情報発信（もぎたて石狩情報作成事業） (政策担当参事)	市民生活の利便性を高めるため、産業・観光等の情報を伝える動画を作成し、インターネットにより広く配信します。	目標	実施				
		実績					
		達成度					

改革の方策		取り組み事項					
④ 目的指向の組織づくり			24	25	26	27	28
1 求められる組織へ (総務課)	組織については、その時々時代の要請に柔軟に対応し、常に市民の目線に立った、効率的・機能的な体制とするため、「人事・組織戦略会議」による継続した検討や行政評価を活用し、組織連携や事務のあり方を検証し、組織の見直しを行います。	目標	実施	●	→		
		実績					
		達成度					
⑤ 新時代の人材育成			24	25	26	27	28
1 人材育成基本方針の見直し (総務課)	職員の自律性（自ら問題を発見し積極的に提案・改善を進めること）や、指導能力・マネジメントスキル等のレベルアップを図るため、「石狩市人材育成基本方針」の見直しを行い、目指すべき職員像とそれに向けた取り組みを示し、実効性のある推進を図ります。	目標	実施	●	→		
		実績					
		達成度					
2 管理職勤勉手当にメリットシステム（成績主義）の導入 (総務課)	職員の能力、モチベーションの向上を図るため、勤勉手当の成績率に人事評価結果を反映します。	目標	実施	●	→		
		実績					
		達成度					
⑥ 職員数の適正化			24	25	26	27	28
1 定員適正化計画による適正な職員数の管理 (総務課)	職員定数について、業務量に見合う適正な職員の配置となるよう、業務の効率化や、組織の見直しを進めながら、定員適正化計画に基づき適正な定員管理に努めます。	目標	487	479	471	462	453
		実績					
		達成度					
⑦ ワーク・ライフ・バランスの推進			24	25	26	27	28
1 職員アンケートの実施 (総務課)	職場環境の改善や健康の維持等ワーク・ライフ・バランスを推進するため、職員の仕事に対する意識や満足度の調査を行います。	目標	実施	●	→		
		実績					
		達成度					
2 年次休暇取得率の向上 (総務課)	ワーク・ライフ・バランスを推進するため、業務の効率化や、職場環境の整備を進めながら、年次有給休暇の取得を推進します。 【目標値⇒労基法に定められた基準（継続勤務年数6年以上：20日）の80%の取得を目指します。】（H22実績⇒11日：55%）	目標	12日 60%	14日 70%	16日 80%	16日 80%	16日 80%
		実績					
		達成度					

第2プール

改革の方策	検討事項
業務管理・マネジメントの強化	決定行為の見直し 決定行為の適正化・迅速化を図るため、ICTの活用や、合議・協議のあり方、決裁権者等規定の見直し・改善を行うこと。 (総務課)

第3プール

改革の方策

ICT活用の推進

行政の合理化と市民サービス・利便性の向上の両立を目指すとともに、災害対策の手法として、情報システム機器やソフトウェアを自ら“所有”する従来の手法に加え、近年さまざまな分野で活用が進んでいる「クラウドコンピューティング」（情報システムを集約し、ネットワークを介してその機能を“利用”することで、行政コストの圧縮や行政サービスの質の向上を図るもの。）の活用や、共同開発・共同運用の推進を図るなど、ICT化を推進します。

行政評価制度を活用した仕事の仕方見直し

市役所に求められる機能性の追求や組織の総合力を向上していくためには、個別業務の質的な改善の積み重ねによって、限られた行政資源を効果的に配分し、バランス感のある施策展開を進めることが鍵となっています。

行政評価制度を活用した「業務の質的改善」を推進するため、業務の効率性、有効性、妥当性、公平性、優先性など多角的な視点に立った検証を深めて行くとともに、従来型の仕事の仕方の改善・改革を進めます。

(3)健全な財政基盤の構築

第1プール							
改革の方策	取り組み事項		24	25	26	27	28
① 財政構造の柔軟性確保			24	25	26	27	28
1 経常収支比率 (財政課)	<p>経常収支比率が高いほど財政構造の自由度や弾力性が失われていることとなります。財政構造の自由度・弾力性の確保を図るため、行政サービスに係る経常的経費を一定の範囲に抑え、経常収支比率90.0%未満を維持します。</p> <p>目標値：経常収支比率（%）</p>	目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
		実績					
		達成度					
② 財政健全化比率の遵守			24	25	26	27	28
1 実質赤字比率 (財政課)	<p>一般会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率で、これが生じた場合は早期解消を図る必要があります。現在は黒字であることから引き続き維持していくことを目標とします。</p> <p>目標値：赤字比率（%）</p>	目標	-	-	-	-	-
		実績					
		達成度					
2 連結実質赤字比率 (財政課)	<p>公営企業会計を含む全会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率で、これが生じた場合は早期解消を図る必要があります。現在は黒字であることから引き続き維持していくことを目標とします。</p> <p>目標値：赤字比率（%）</p>	目標	-	-	-	-	-
		実績					
		達成度					
3 実質公債費比率 (財政課)	<p>標準財政規模に対する実質的な公債費の比率を示し、比率が高いほど財政の硬直化が進んでいることとなります。公債費負担を軽減し、財政構造の自由度・弾力性を高めるため、平成28年度実質公債費比率9.0%未満を目標とします。</p> <p>目標値：実質公債費比率（%）</p>	目標	11.3	10.5	9.5	9.0	9.0
		実績					
		達成度					
4 将来負担比率 (財政課)	<p>標準財政規模に対する将来負担すべき実質的な負債の比率を示し、比率が高いほど将来的に財政を圧迫する可能性が高いこととなります。将来を見据え、地方債残高を計画的に縮減し、公債費の圧縮を進めるなど、平成28年度将来負担比率118.0%未満を目標とします。</p> <p>目標値：将来負担比率（%）</p>	目標	140.0	130.0	125.0	120.0	118.0
		実績					
		達成度					
③ プライマリーバランスの黒字化			24	25	26	27	28
1 プライマリーバランスの黒字化 (財政課)	<p>市債などの借金を除いた歳入と、借入金の元利払いを除く歳出を比較し、黒字であれば財政が健全であると言えます。現在は黒字であることから引き続き黒字を維持することを目標とします。</p>	目標	黒字	黒字	黒字	黒字	黒字
		実績					
		達成度					

改革の方策		取り組み事項					
④ 地方債残高（普通会計）の縮減			24	25	26	27	28
1 地方債残高の縮減 (財政課)	市債の借入れは後年度負担の要因であることから、世代間負担の公平化とともに財政の硬直化を招かないよう必要最小限の借入れに努め、平成28年度市債残高300億円未満を目標とします。 目標値：市債残高（億円）	目標	330	330	320	310	300 未満
		実績					
		達成度	/	/	/	/	/
⑤ 基金借入金残高の縮減			24	25	26	27	28
1 基金借入金残高の縮減 (財政課)	特定目的基金は本来特定事業の実施のために取り崩すべきものですが、これまで、財政収支不足を補うため一時的に基金から借入れを行っています。借入金は、これまでも縮減に努めてきましたが、引き続き返済を行い、平成28年度基金借入金残高4.5億円を目標とします。 目標値：借入金残高（億円）	目標	12.9	10.8	8.7	6.6	4.5
		実績					
		達成度	/	/	/	/	/
⑥ 財政調整基金の充実			24	25	26	27	28
1 財政調整基金の充実 (財政課)	財政調整基金は、大幅な減収影響に対する財源補完や不測の追加財政需要などの年度間調整財源機能を有するものですが、これまでの財政運営で全て取崩しているため、今後は、緊急の財源対策として剰余金等を活用しながら毎年度1億円の積立を目標とします。 目標値：基金積立額（億円）	目標	1	1	1	1	1
		実績					
		達成度	/	/	/	/	/
⑦ 減債基金の充実			24	25	26	27	28
1 減債基金の充実 (財政課)	本市の公債費は、段階的に減少するものの、平成28年度からは、合併に伴う普通交付税の特例措置も段階的に縮小され、財政運営を圧迫することから、剰余金等を活用しながら毎年度0.3億円の積立を目標とします。 目標値：基金積立額（億円）	目標	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
		実績					
		達成度	/	/	/	/	/
⑧ 土地開発公社の経営健全化			24	25	26	27	28
1 土地開発公社の経営健全化 (財政課)	平成19年度に策定した土地開発公社経営健全化計画に基づき保有地の処分と財政支援により累積欠損金を縮減し、平成28年度、年度初欠損金額6.5億円を目標とします。 目標値：年度初欠損金額（億円）	目標	9.6	8.7	7.5	7.0	6.5
		実績					
		達成度	/	/	/	/	/
⑨ 特別会計の経営健全化			24	25	26	27	28
1 国民健康保険事業の経営健全化 (財政課)	平成21年度に策定した第1次国民健康保険事業経営健全化計画に基づき、一般会計からの繰入と各種取り組みの強化により累積赤字を縮減し、平成28年度累積赤字額3.0億円を目標とします。 目標：累積赤字額（億円）	目標	7.5	6.9	5.4	4.0	3.0
		実績					
		達成度	/	/	/	/	/

改革の方策		取り組み事項					
2 水道事業会計 の経営健全化 (業務課)	平成25年度からの水源の変更並びに老朽 化施設の計画的な更新に備え、料金水準の見 直しを行うとともに、支出の抑制に努めるな ど、効率的な事業運営を図ります。 目標：単年度収支不足額（億円）	目標	1.4	1.0	0.4	0.4	0.5
		実績					
		達成度					

「目標」・「実績」・「達成度」の記載について

■「目標」

- ①数値目標がある場合 … その“数値”を記載
- ②それ以外 … 実施年度に“実施”を記載。
(例えば、制度・システムの導入や見直し、委託の実施など)

■「実績」

- ①「目標」が“数値”の場合 … “実績数値”
- ②「目標」が“実施”の場合
 - (ア) 実施したもの … “実施”
 - (イ) 未実施のもの … “未実施”
 - (ウ) 上記以外のもの … “一部実施”
 - (エ) 引き続き実施 … “→”

■「達成度」

- ①「目標」が“数値”の場合 … 記入しない。
- ②「目標」が“実施”の場合
 - (ア) 実施 … 100%
 - (イ) 未実施 … 0%
 - (ウ) 一部実施 … 実施までの工程を100%とし、現在の進捗状況を%で記載。

目標	実績	達成度(%表示)
数値	実績値	記入しない
実施年度を 表示	実施	100%
	(実施・未実施以外) 一部実施	実施までの工程を100%とし、 現在の進捗状況を%で記載する
	未実施	0%

石狩市行政改革2016

発行年月／平成24年3月

発行／石狩市

編集／総務部参事（行政改革担当）

〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目30番地2

電話 0133-72-3111（代表）
